

志茂田景樹

盲導犬と彼と僕

盲導犬を伴った中年の男性が地下鉄の改札口付近でうろろろしていた。何か指示の言葉を発しているが、盲導犬は、途方に暮れている。

「どちらへ行くこうとされているのですか？」

僕は声をかけた。

「タクシー乗場です。歯医者へ行く途中なんです……」

男性は前歯がなく不明瞭に答えた。

「タクシー乗場はJRのほうです」

僕は男性と盲導犬を連れてエスカレーターを上がり、JRの同名の駅の改札口からすぐの乗場へ案内した。それだけのことである。

それからだいぶ経ってのこと。タクシーから下りてJRの駅の改札に向かう彼と盲導犬に出会った。男性は口許がしっかりしていた。前歯が入ったのだろう。当然、僕に気づかずれちがっていった。

それだけのことである。



志茂田景樹氏

作家、「よい子」読み聞かせ隊「隊長。1940

年静岡県生まれ。80年に小説「黄色い牙」で直木賞を受賞。「笑っていいとも」などバラエティー番組にも多く出演。99年、家庭における絵本の読み聞かせの必要性を痛感し、「よい子」読み聞かせ隊」を結成。全国各地で活動を行っている。2014年「キリンがくる日」で日本絵本賞読者賞を受賞。Twitterのフォロワーが38万人を超えるなど、多くの若者にも支持されている。公式ホームページは <http://www.kageki.jp/>。

「はなはなし購読サービス」は患者さん向け読み物を購読・配送するもので、歯科医院のみに提供。

執筆者の手書き原稿（B5サイズ）を毎月10

0枚配送する。発行は毎月2回（原則、1日・15日）。

利用料は毎月500円（税別・送料込み）。申込はウェブサイトで。

<http://www.mic.jp/hanahashi>

提供 ミック



【次回は志茂田景樹氏（2回目）です。】